



湯藤さんは、父親の司法書士事務所(同所)に勤務し、法務関係に携わってきた。趣味の一つであるヨットに乗るうち、海事法令の専門家である海事代理士に興味を持ち、資格を取得。2年前に関業した。

「現在、福山市内で(社)日本海事代理士会に登録しているのは3人。船が少なくなる中で海事代理士も減ってきたが、福山は海に面している町で、入り江に多くの船が停泊しているなど船の所有者は多い。どこにもスチャンスはある。船に関することは何でも相談頂ければ」と湯藤さん。

湯藤さんが主に手掛けるのは、船舶の登録、登記、免許申請、船員の雇用関係書類作成など。船の面倒な専門手続きを代行している。中でも力を入れているのは小型船舶の定

船に関する相談 何でも受けます

湯藤海事代理士事務所 海事代理士

ゆ どうじゅんいち

湯藤淳一さん (44)

福山市若松町7-5・湯藤事務所内
電084・924・8355

期・中間検査の代行。
「検査は決まられた日に行われるため都合の合わないオーナーも多い。検査当日の立ち会いを代行する。検査当日の立ち会いを代行するため、非常に喜ばれている。現在定期・中間検査の紹介キャンペーンを実施中。検査の依頼をした人、また、紹介者にクオカードをプレゼントしている。尾道、因島の人でもOKです」という。

「現代では中古船が手ごろな値段で手に入るようになり、船の所持の敷居は低くなった。今後は、停泊場の開拓など、多くの人に海洋レジャーを楽しんで頂けるような取り組みにも動いていきたい」と話している。

でやう

フリスに1600人の人出 多彩な催しで活気呼び込む

三原リージョンプラザ 館長

だ て まもる

伊達 護さん (48)

三原市門一町2-1-1
電0848・64・7555

「4月14、15の両日は広場でフリスケットを開催し74人が109区画で販売。1600人を超える来場があり、会場に設けた募金箱に寄せられた5335円に収益金を加えた3万9135円を日本赤十字社を通じて東北で震災に遭われた人たちに届けます。これからの多彩なイベントをお届けすることもできました、その成果に手応えを感じている。

郷土の文化・スポーツ振興の役目を担う同館はコンサートや映画を上映するホールや体育館、プール、研



修室などの施設を備えている。「これらを円滑に運営することはもちろん、市民の皆さんに喜んでいただけるプログラムを企画すること、私たちの大切な役目で、そのため情報収集にも精を出している毎日です」

5月3日に開催した「おり紙ヒコキ大会」も盛況で、会場となった副体高館には市内はもとより県内からも勢の家族連れが集まりにぎわった。「毎回好評の映画上映もこれから目自押しで、5月21日(土)は「戦火の中へ」6月10日(金)は「キュ1ボラのある町」6月10日(土)には「少女たちの羅針盤」を予定しています。これからの多彩なイベントを当館のホームページや市の広報、経済リポート(さん)などを通じて紹介するので期待ください」